

演劇上演
企画

『私』と『わたし』

あなたの有効期限が
切れましたので
更新にやってきました

発達障害
グレーゾーン

孤独・孤立

一緒に考えてみませんか？



わたしは、
皆みらいに
できない

©Tomoko Kosugi

『私』『わたし』について

『私』(ADHD男性視点)と『わたし』(ASD女性視点)は発達障害をテーマに「引きこもり」、「生きづらさ」、「孤立や孤独」について当事者視点の主観や体感を描き、発達障害の人もそうでない人も楽しみながら疑似体験ができるように当事者自身が作って演じている演劇作品です。

発達障害の当事者演劇オンライン上演+ディスカッション

発達障害の当事者自らが主観や体感を作品化した演劇『私』『わたし』オンライン上演の後に、作品の内容や発達障害について、司会者、出演者、参加者を交えて一緒に考えるオンラインシンポジウムです。司会者、出演者以外はビデオOFF・ミュートでZOOMに参加いただき、意見や質問は文章によるチャットで受け付けますので、お気軽にご参加ください。タイムテーブルなど詳細はウェブサイトをご覧ください。

出演者

増田雄：多摩美術大学出身。株式会社MTC芸術監督、プロデューサー、劇作家、演出家、俳優。ADHD当事者。
関根淳子：東京大学出身。SPAC(静岡県舞台芸術センター)所属俳優、劇団音乃屋主宰。ASD当事者。

開催日時：
令和3年 6月19日(土) 13~16時

場所：Zoom (事前登録が必要)

使用言語：日本語

司会：澤田欣吾 (相談支援研究開発センター)

対象者：東京大学の在學生 (学部生・大学院生)

Zoomでの上演です

※企画の詳細、事前登録はこちら

<https://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/mhs/co-en/>

【本件に関する問い合わせ先】

東京大学 相談支援研究開発センター助教 澤田欣吾

E-mail: 2267116268@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

こちらからも
登録できます



CO-ENプロジェクトとは・・・

芸術家と医療福祉従事者とそのユーザーが連携し、社会全体の健康が向上するための芸術活動について研究・実践するプロジェクトです。

芸術

×

医療

=

?